

熊本子ども囲碁便り

No.1 2 2012.12.15

発行：熊本子ども囲碁普及会

託麻囲碁クラブ内 096-382-0174



2012年、熊本のチビッコ棋士達にはどんな一年だったのでしょうか。各教室で囲碁の勉強に励み、その成果を交流大会や県予選などで発揮できたことだと思います。来年も楽しい交流会などを計画しています。

《 第 1 7 回 熊 本 青 少 年 囲 碁 の 集 い 》

11月25日(日)「第17回熊本青少年囲碁の集い」(主催/日本棋院熊本県本部・熊日)が開催されました。幼稚園から高校生まで75人が参加。それぞれ4局対戦しました。



全勝者

田中一光 (出水中2年)

芦田華 (附属小5年)

米田碧 (人吉西小)

米田伊吹 (人吉幼稚園)

松本大輝 (長嶺中)

諏訪免美久 (山之内小)

各教室から・・・

佐土原子ども教室

(熊本市東区佐土原1丁目10-1 Tel.096-367-1707 代表 渡辺利男)

教室を始めて1年6ヶ月となりました。生徒数は約30名となり、教室に通ってきた回数を記録していますが、300回超が一人、200回超が一人、150回超が4人、100回超が2人もいます。棋力向上度合いはよく把握できますが、最も気になるのは、囲碁教室に通って来ることが、その子の日常生活や学業にどれ程良い影響を与えているのだろうかということです。そこで、3人のお母さんにそのところを聞いてみました。

「一生続けられる楽しみに」 河野 仁美 (健軍東小4年 河野圭吾)

圭吾が囲碁を始めてから、1年5ヶ月が経ちました。親の私が囲碁の様々な効用を期待し始めさせた感じでしたが、本人も楽しく教室に通っているようです。囲碁そのものの面白さだけでなく、佐土原囲碁教室の温かい雰

囲気のおかげと感謝しています。様々な大会に出させて頂いている事も良い経験になっているようです。圭吾の囲碁の上達速度はのんびりですが、これからもこつこつと頑張って、一生続けられる楽しみとなってくれたらと思います。

「勝つ喜びが楽しさに」 佐々木 美香（東町小5年 佐々木仁）

五年生の息子は、囲碁を始めて一年四ヵ月。碁を打つのが楽しいようで、時間のある日には教室にいそいそと出掛けて行きます。大会や練習試合にも参加していますが、最近は負けるのがくやしいようです。成績の善し悪しで、帰りの車の中は天国と地獄の差です。負けた時も冷静に分析して欲しいものです…。勝った時の喜びが楽しさに繋がっているんですね。今後の「息子と囲碁」に期待し、見守っていきたいと思います。

「夢はプロ棋士!？」 諏訪免 佳代（山の内小4年 諏訪免美久）

娘が教室に通い始めて一年と数ヶ月が経とうとしています。私たち親が囲碁に興味があり、娘も行きたいということで習い始めました。続くかどうか心配していましたが、とても楽しいようで、教室に行けない日は機嫌が悪くなるほどです。定期的にある交流戦も毎回はりきって参加しています。「囲碁で絶対有名になる」と娘は夢を抱いているようです。今のところ順調に成長しているようですが、これからも様々な経験をして夢に向かってがんばってもらいたいです。

RKKカルチャーセンター子ども囲碁講座

（熊本市東区長嶺南 3-9-1 RKKカルチャーセンター TEL096-383-3900 囲碁講師 藤森常生）

“囲碁は、勝っても負けても面白いゲームだな！”

先日（11月21日、於：熊本県信用保証教会）の子ども囲碁交流試合で、試合が終わったあとの笑顔の子どもたちです。



「また、今度ががんばろう！」

熊本チビッコ碁友会（託麻囲碁クラブ）

（熊本市東区保田窪 5丁目 9-23 TEL096-382-0174 西山育子・田中信夫）

“2012年を振り返って”

子ども教室を再開して1年4ヶ月が過ぎました。当教室は平日（火、水、金）4時～6時・日曜日午前10時～12時の週4日です。再開を決意したのは江藤先生から背中を押されたということもありますが、囲碁を続け

ている子どもを10年以上みてきて「囲碁は子どもにとってとても良い！」と確信したからです。

熊本チビッコ碁友会を創設した栗原先生のかつての教え子には、30才近い社会人もいます。今も休みになると仲間が集い囲碁を楽しんでいます。先月のお便りでもお知らせしました東京での熊本県人会囲碁会でも仲間が集っていました。

我が家の娘は高校で囲碁部に所属していますが、部員が仲良く仲間づくりもできていて、この子たちもまた、大人になっても連絡を取り合い助け合える関係になるだろうと安心しています。

子どもの学校生活で友達関係がいいことほど親にとって安心できるものはありません。その点、囲碁を学んでいる子どもは真面目で勤勉、誠実という言葉がぴったり当てはまるような気がします。

さて、その素晴らしい囲碁を大人になってからではなく、“ぜひ子どもの時から！！”と再開しましたが、なかなか普及できていないのが実情です。チラシを撒いたり、広告を載せたりしたこともありましたが、ほとんど反応はありませんでした。

せっかく入会しても、他の習いごとで忙しく段々と通ってくる回数が少なくなり、それが退会につながるということもありました。囲碁は単なるゲームだと思っている人がまだまだ多いのでしょうか。

教室の前は通学路になっていて、毎日たくさん子どもたちが登下校します。この黄色い帽子をかぶった子どもたちが囲碁を始めるなら、もっと楽しい学校生活になるだろうにと、囲碁の魅力を伝えることができないもどかしさを感じます。

当教室の特徴は、午後毎日やってくる大人と同じ部屋で囲碁を学べるところです。子どもにとってはおじいさんの年齢の人から声をかけてもらい、時々是对局の相手をしてもらったりすることは本当に人格形成の上でもすばらしいことだと感じています。

来年は、子ども囲碁普及会と一緒に囲碁を普及活動することが重要であり、積極的に学校などに働きかけることも課題の一つだと感じています。(西山)

熊本母と子の囲碁教室

(熊本市東区下江津 3-4-7 TEL096-370-2263 江藤 由久子)

「囲碁普及一年を振り返って」

記 江藤茂

早いもので、今年も余すところ半月もなく終わろうとしています。歳を重ねる毎に一年があっという間で、あれもしたい、これもしたいという思いだけが先走りし、なかなか思うにまかせない一年でした。しかし、一歩づつではあるが行動を通じて成果も見た。相手があって時間日時を要するものと普及者が動けば成果をみるものとを峻別し、できるものをつるつると先延ばししないようにしたい。動けばできるものの一つである「子ども囲碁普及会」の法人化は、来年4月を目標にぜひやりとげたい。組織をしっかりしないと空回りして動きづらい。来年の目標は相手のあることで一番難しい普及者の育成に取り組みたい。これなくして普及はあり得ないと思っております。

日本棋院玉名支部初心者教室

(玉名市岩崎 154-1 TEL0968-74-4968 担当 隈部敏)

「玉名初心者囲碁教室の現状と課題・・・24年の反省」

19年7月にスタートした玉名初心者囲碁教室も、今年で6年目になります。スタートした当初は、生徒数も多かったのですが、その後は増えたり減ったりして、今に至っています。

現在、生徒数は大人10名(男子2・女子8)、子ども5名(男子2・女子3)、まだ対局できない初心者2名の計17名ですが、常時受講している生徒は、10名くらいです。これまでの取り組みの反省と今後の課題につ

いて考えてみます。

- ① 今年は大人（女）の新入生が一名増え、しかも授業中積極的に発言していただくので、教室に活気が出てきました。授業も楽しく、なごやかにできているのがうれしいです。
- ② 大人は高齢者が殆んどで、子どもと違って棋力がなかなか伸びません。でも対戦をみると、すこしずつ向上しているように感じます。
- ③ 毎月第一土曜日は、9：30～14：00 までの4回戦の初心者囲碁大会です。会費は500円で、全員に弁当、参加賞、入賞者には賞品もあり、みんな大会を楽しみにしているようです。対局中は真剣そのものですが、よく考えて打つ人と考えずにすぐ打つ人があり、結果に現れてきます。相手は、どうしてそこに打ったのか、自分はどこに打ったら一番よいのか・・・考えようと指導していますが、なかなか思うようにいきません。
- ④ 子どもたちは、毎週土曜日の一回だけなので、棋力が思うように伸びないのが悩みです。
- ⑤ 玉名地方の囲碁大会は、大人（男）がほとんどで、子どもや女性がいなのがさみしいです。しかも高齢者が多いので、若者、女性、子どもたちの育成が急務になっています。
- ⑥ 先日の会議の折、日本棋院が全国の学校で入門囲碁体験教室の計画している・・・とのチラシを見て、玉名支部でもこれに取り組みたいな・・・と考えています。
- ⑦ 初心者教室は、一部の者が頑張っても発展しません。玉名支部でも、役員全員による指導体制の確立が大切と考えています。
- ⑧ 教室に、初心者教室用の図書や教材が殆んどないので、生徒の囲碁に対する関心、意欲を高める教室環境づくりが必要だと考えています。

人吉球磨支部子ども囲碁教室

（人吉市西間上町 2569-2 みのだ内科循環器科内 0966-28-3111 支部長 蓑田耕太郎）

「子ども教室 今年の振り返り」

日本棋院人吉球磨支部理事 金枝雅治

子ども教室は今年で2年になります。人吉で行われた“ねりんピック囲碁大会”を契機として始めました。メンバーは17名で、ほとんどが昨年からの継続ですが、今年になって始めた子も3名います。幼稚園から小学校高学年までの子どもたちで、棋力は11級から38級の間です。支部全体で子どもたちを育てようとの考えで、蓑田支部長をはじめとして支部のメンバー数名で先生として子ども達の指導に当たっています。

現在は、13路盤を使っています。毎週土曜日の午後に教室を行っていますが、はじめに子ども達の間でトーナメントを行い、負けた者は先生方との指導碁に回ります。指導碁で勝ったら一目づつ減らすことにしています。トーナメントの結果と指導碁の状況を踏まえて、その都度、藤川さんが子ども達の棋力を判断しています。級が上がることに大変喜びとやりがいを感じているようです。8月に人吉で行われた「南九州子ども囲碁交流大会」に多数参加し初めての対外試合を経験しました。11月25日に行われた「熊本青少年囲碁の集い」にも数名参加しました。上達の早い遅いではありますが、みんなが楽しく囲碁を行うことを最大の目標として活動しています。

今、苦心しているのが、基本的なことをどのくらい教えるかです。基本的なことは早く教えた方が良いという考えと、子どもの自由な発想を妨げるので極力自由に打たせた方が良いという考え方です。子供達の成長を見ながら、この問題はよく考えなければいけないと思っています。



「人吉子ども囲碁教室の現在の状況と初心者の級判定について」

日本棋院人吉球磨支部理事 藤川雅朗

教室は1週間に1回だけで、地域のコミュニティセンターで、土曜日の午後に1時間30分の教室を開いてい

ます。現在、指導者は7人ほどで、5歳から11歳までの子どもたち18名（＋保護者2名）が囲碁を学んでいます。時間が限られていることから13路盤を使用し、毎週、集まった子どもたち12名ほどでトーナメント戦（ハンデ戦）を行い、負けた人は先生方と対局します。最後に、トーナメントの成績や指導碁の置石数で級の見直しを行い、2名～5名の昇級者を発表します。

初心者の級の判定方法については、県内それぞれの囲碁教室で異なっていて、教室間で棋力にバラつきがあります。教室によってはある程度打てるようになったら20級からスタートするところもあると思いますが、人吉の教室では、初心者の入門時は60級からスタートしています。

最初は、9路盤で石取りゲームから始めて、徐々に囲碁のルールを教えていきます。級判定の目安としては、9路盤での置石1子が6級分に相当するとみて、7子置いて先生に勝てれば大体45級としています。

45級になれば他の子どもと13路盤でハンデを付けて対局します。13路盤は置石1個が約3級分とみていますので、45級の子は、15級の子に10子置いて対局することになりますが、それでも最初はなかなか勝てないようです。また、20級の目安としては、五段の先生に13路盤で9子置いて勝てればその棋力があるということになります。低い級からスタートさせるのには2つの理由があります。ひとつは、実力に応じた適正なハンディキャップを付け、初心者であっても対等な勝負をさせたいと思うからです。ふたつ目は、昇級する喜びを覚えてもらいたいからです。強くなっていることを昇級という形で実感できれば、やる気も出てどんどん強くなっていくことができます。子どもの『やる気を引き出す』良い方法だと思います。

囲碁教室『阿蘇一碁一会』・ヒカルの碁スクール『阿蘇』

（阿蘇市一の宮町宮地 6273 番地 6 050-3481-7045 代表 藤崎幸次郎）

こんにちは！ヒカルの碁スクール『阿蘇』の藤崎です。阿蘇は、もう真冬のような寒さですが、まだまだこれから寒くなって行きそうです。皆さんはお元気ですか？

先日、大阪へ姉と旅行に行ってきました。本当は、岡山で囲碁大会に出場するために計画を立てていたのですが、熊日主催の肥後碁聖戦で運良く二日目に残る事ができたので、急遽計画変更で大会前日に帰ってきました。と言っても着いたのは大会当日の朝3時でしたが(^_^)

結果は、四位でした。準決勝で優勢を築きながらも一手の緩手で逆転されてしまいました(>_<)

大阪では、友達と会ってご飯を食べたり、カラオケ行って楽しめました(^_^♪

今回は囲碁大会と別に是非行ってみたい所がありました。

それは京都にある、囲碁バー『GO salon (ジーオー サロン)』です。オーナーの政光さんは、大分県出身で京大卒業後一流企業に勤められていましたが、囲碁への情熱が抑えられず、退社して囲碁の会社を起業した方です。囲碁バーは、その事業の一環です。

ヒカルの碁のアニメが始まった時は、子供のためのネット対局場『囲碁きっず』を立ち上げ、大勢の子供たちの囲碁入門の受け皿を作られました。

囲碁きっずホームページ <http://www.igo-kids.com/>

政光さんとは十数年前に、『囲碁を子供に教える』メーリングリスト（今のミクシィ等の SNS の原型のようなもの）で知り合いになりました。以後大分に帰省される度に、私の囲碁サロンに娘さんと寄って下さいました。家内が亡くなった時も、別府から駆けつけて下さいました。その政光さんが、囲碁バーを始められたので是非お邪魔したいと思っていたのです。

その店は、京都駅から程近い車1台がやっと通れる一方通行を入っていった所に有る、とても感じのいい町屋カフェでした。カフェのオーナーさんの提案で水曜と土曜・日曜の夜のみ囲碁バーにさせてもらっているとの事です。

その日は、関西棋院のプロ棋士八幡 幸一六段の八幡会の指導碁会が有り参加させて頂きました。行った時は政光さんともう一人の方が、指導を受けておられ私も入れて頂き、2子で挑戦！序盤は黒優勢に分かれましたが、徐々に追いつかれ形勢逆転(>_<) その頃、政光さんが3子で金星！私は、相手の大石をせめて逆転を狙いますが、生きられて投了ムード(>_<) しかし、先生が錯覚で手を抜き、私が大石をしとめて再逆転勝ちでした。夜7時ごろから、サロンのお客さんが見え始め、覚えて3日目の方が、政光さんの指導碁の後、プロの先生に9路盤で5子で指導を受けていました。プロの先生でも9路盤の指導は初めてのようで、空気を読まず全滅させていました(´▽` ;A

今回感じた事は、東京や大阪、名古屋、京都と若者への囲碁アピールがうまくされているので、熊本でももっと若い人たちへの普及の方法を考えなくてはいけないなと思いました。

その日囲碁バーへ一緒したのは、川西市にお住まいの長谷川加奈美さんという方で、『囲碁梁山泊』と言う季刊誌のライターをされていて、囲碁も覚えて数年で三段になられたそうです。

10月に南阿蘇で行われたカントリーゴールドにもお見えになり、私の教室や託麻囲碁クラブも取材に来て下さいました。

次号に載せて頂けるそうです(´^`♪

『囲碁梁山泊』を読みたいと言う方は、下記からメールでお申し込み下さい。

http://www.igosoft.co.jp/igo_ryozanpaku/index.htm

政光さんのホームページです。

<http://ameblo.jp/igokyoto/entry-10270505589.html>



《囲碁バーの詳細》

京の町家カフェ「月の花」において水曜と土曜・日曜の夜のみ出現する囲碁バー。

京都市下京区綾小路通堺町東入る北側 綾材木町 206-1 075-201-1125

地図：<http://g.co/maps/um8j6>

19×19の本格的なものだけでなく、9×9などの小さな碁盤も揃え、気軽に囲碁を体験できる。無料囲碁入門指導、随時。

一新こども囲碁教室

熊本市中央区新町 3-4-22

Tel・Fax 096-352-7639 毛利秀士

E-mail:mouri@silk.plala.or.jp

「一新こども囲碁教室」を終えて

「熊本市子ども文化会館」と共催で始めた『こども囲碁教室』は14名が参加。手さぐりだったけれど9月から3ヶ月、6回の教室が無事終わりました。アンケートでは園児から中学1年までの参加者の殆んど楽しかった、また参加したいと回答。保護者のコメントも理解があるものでした。

一年間の「こども囲碁教室」の反省をもとに、本年は開催日と内容を一新し、1月から毎週土曜日の午後開催することにしました。1～3月は『頭脳を鍛えるこども囲碁教室』と称して開きます。5人の講師陣も子どもと共に囲碁を楽しみたいと張り切っています。

★★特別企画 ～囲碁は頭脳のスポーツだ～★★

『頭脳を鍛える・冬期こども囲碁教室』参加者募集！

こども囲碁教室ファンのみなさんへ

皆さんからのアンケートを受けて、新春1月から3月まで楽しく学びながら『頭脳を鍛える・冬期こども囲碁教

室』を開きます。寒い期間ですが、友達も誘い合ってご参加ください。

保護者の皆様へ

囲碁は頭脳のスポーツと呼ばれ、全国の進学校では必須のクラブ活動になっています。今まで一新まちづくりの会は地域有志のボランティアの方々の協力を得てこども囲碁教室を開いてきましたが、今回は体系的に囲碁を勉強できるように『頭脳を鍛える・冬期こども囲碁教室!』を開き、お子様の柔らかい頭脳を鍛えたいと思っています。お子様の参加にどうかご配慮をお願い申し上げます。1月5日までにFaxかメールしてください。

冬期特別企画 『頭脳を鍛える・冬期こども囲碁教室』 概要

日 時 平成25年1月12日(土)～3月23日(土) ・午後1時30分～3時30分 全11回
会 場 段山八幡宮社務所 熊本市中央区島崎1丁目11-7 段山踏切近く
参加料 3ヶ月間、全11回 3,000円 ※募集定員は10名程度

～囲碁で脳を活性化させましょう～

一新囲碁クラブ・囲碁教室のご案内

一新まちづくりの会では今まで地域有志のボランティアの方々の協力を得て、毎週火曜日に大人の一新囲碁教室を開いてきました。今回は会の運営をリニューアルし、日程を毎週土曜日の午後に変更。内容もレベルアップ講座と参加者同士のリーグ戦と講師陣との指導碁を設け、より充実した教室にしたいと思っています。初心者も愛好者の皆様も、お気軽に立ち寄れる雰囲気の教室にしたいと考えていますので、お気軽にご参加くださいますようご案内申し上げます。

《新・囲碁教室の概要》

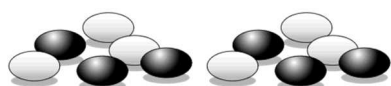
日時 平成25年1月12日(土) から毎週土曜日開催 午後1時～5時 (出入り自由です)

会場 段山八幡宮社務所 熊本市中央区島崎1丁目11-7 段山踏切近く

参加費 1ヶ月 1,000円

◎駐車場は金峰みそさん前の立正佼成会駐車場をご利用ください。

◎こども囲碁教室は同じ土曜日の午後1時30分～3時30分まで開催しています。時々子どもたちに胸を貸してあげてください。



★第7回全九州高等学校囲碁選手権



11月17日(土) 18日(日) 長崎県時津町コスモス会館において開催されました。九州各県の代表が個人・団体戦に熱戦をくりひろげました。結果は下記の通りです。

個人(男子)	優 勝 大城裕太郎(沖縄 那覇高)	(女子)	嶋田愛里
	準優勝 前田光太郎(沖縄 尚学高)		原田彩花
	3 位 田 中 一 成(熊本 真和高)		岸本美樹
団体(男子)	優 勝 上野丘高校(大分)	(女子)	海星高校(長崎)
	準優勝 ラ・サール高校(鹿児島)		真和高校(熊本)
	3 位 星雲高校(長崎)		鹿児島情報高校(鹿児島)

※個人3位(女子は2位)までと団体2位までの入賞者は来年3月の全国大会(大阪)に出場します

編集後記・・・熊本子ども囲碁便りも無事に一年を迎えることができました。先日、佐土原子ども教室にて県内子ども教室の責任者が集り来年に向けた話し合いを行い、引き続き普及に頑張ることで一致しました。第5回子ども囲碁交流大会も1月に開催します。来年もたくさんの原稿お待ちしております。今度も引き続き保護者の皆さまのご協力をよろしくお願い致します。チビッコ棋士達に楽しいクリスマスと輝く新年が訪れますように！！（記 西山）